

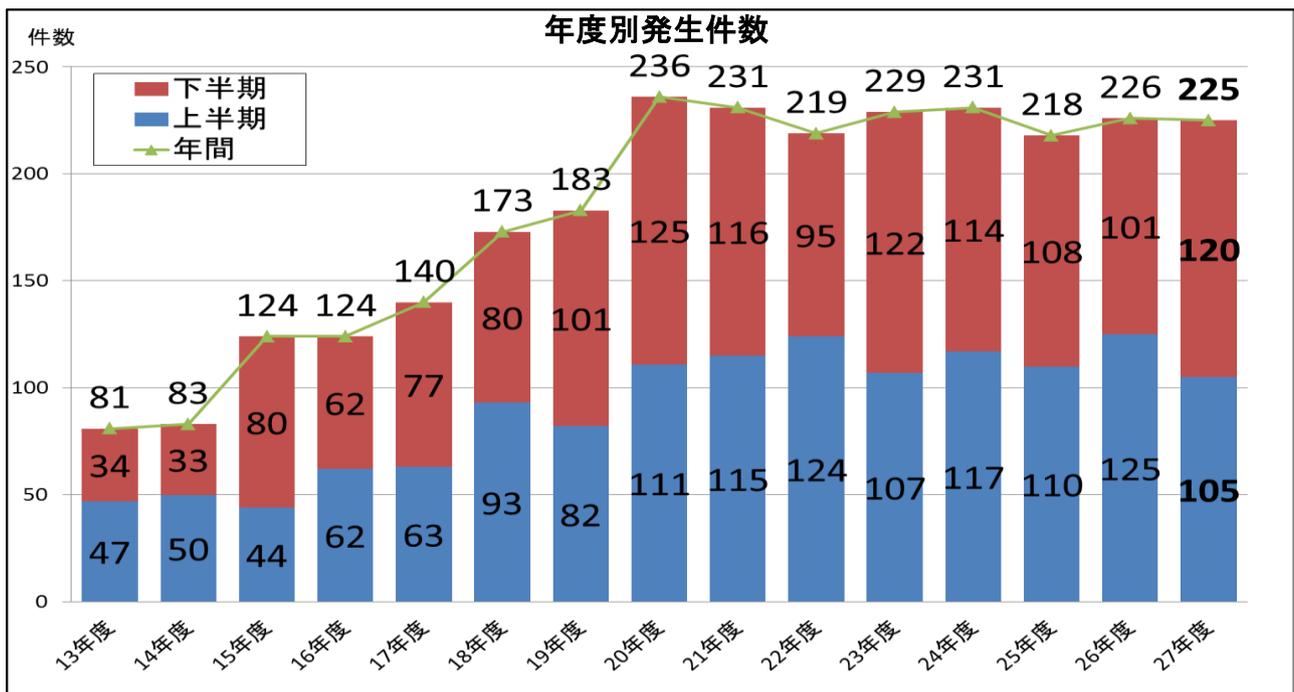
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成 27 年度 / 大手民鉄 16 社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄 16 社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行いました。

暴力行為の発生件数は 225 件（上期 105 件、下期 120 件）と、平成 20 年度より 8 年連続での 200 件越えとなり、依然として高い水準で推移しています。

暴力行為が発生する状況としては、酪酊されたお客さまに近づいた時や理由なく突然に暴力を受けるケースが多く、時間帯については深夜帯（22 時以降）の発生が多くなっています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、引き続き啓発ポスターの掲出などを実施してまいります。



（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

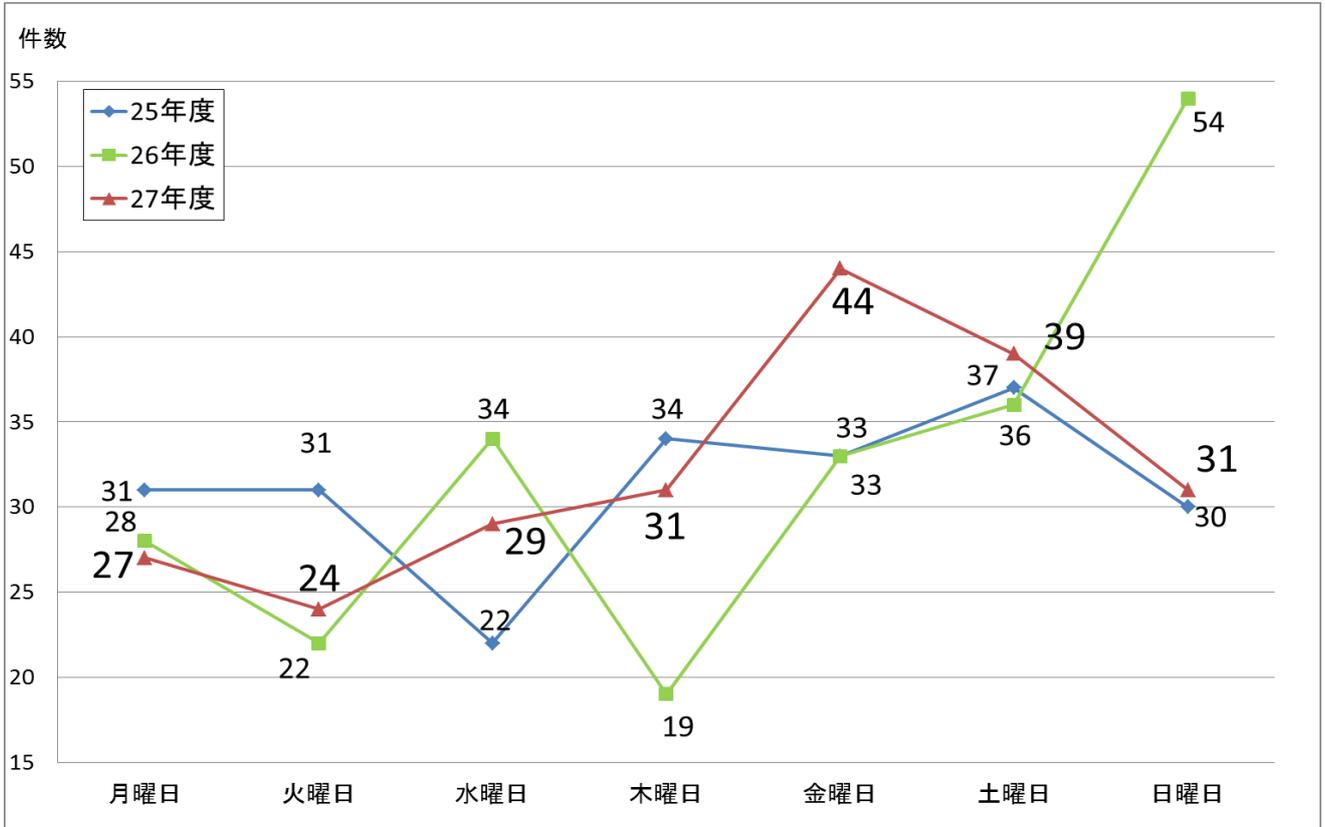
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表していません。

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています

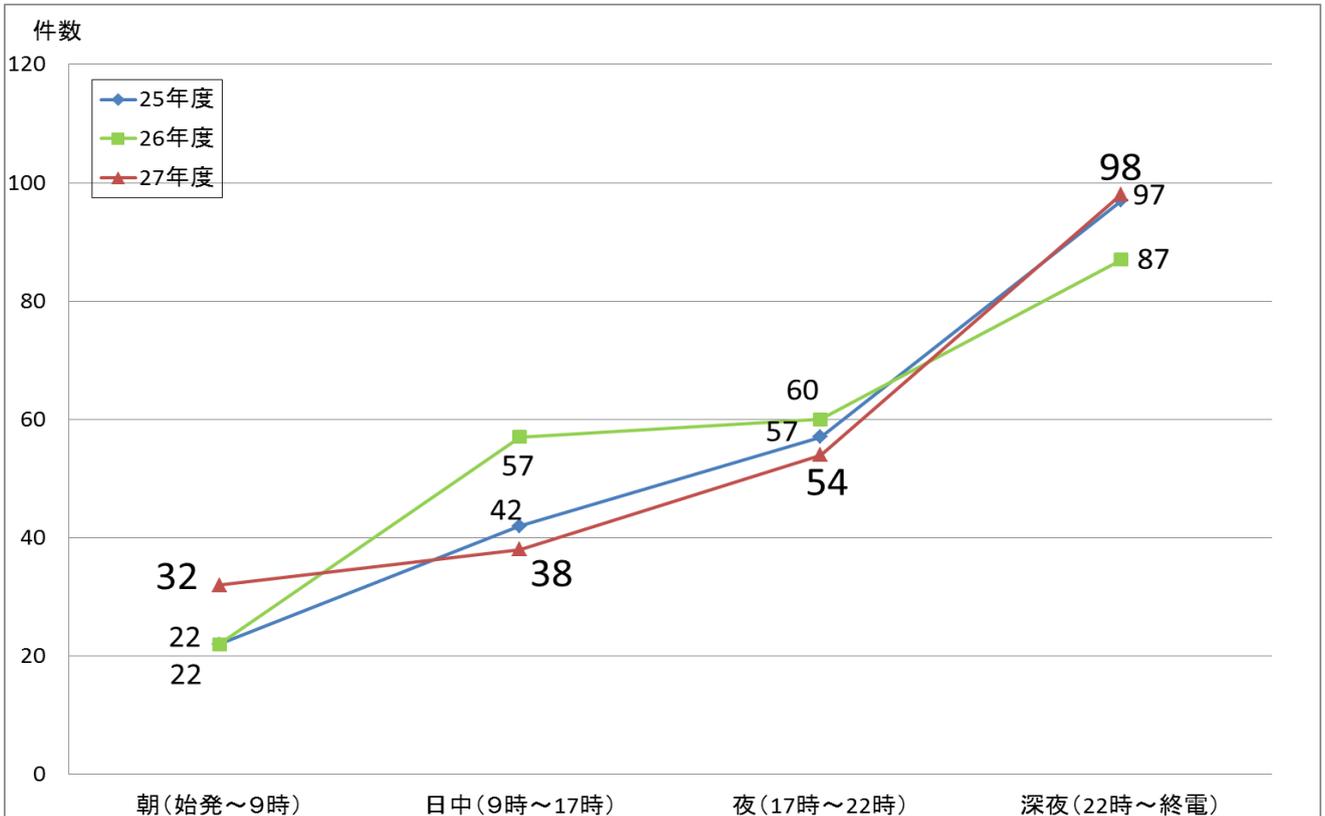
国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・福岡経済記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 発生件数



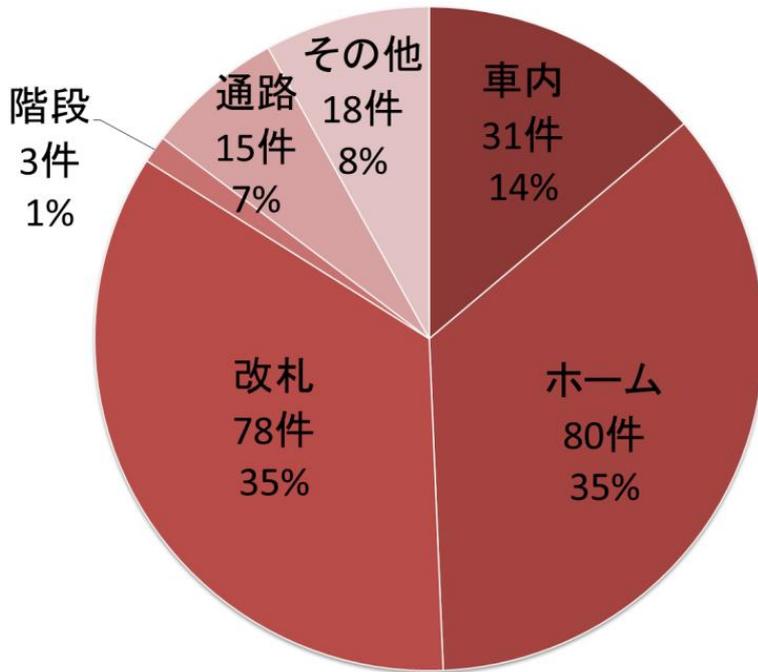
2. 時間帯別 発生件数



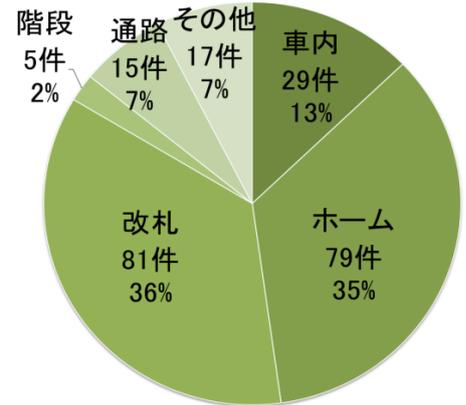
※27年度における、発生時間帯不明の3件は含まず。

3. 主な場所別 発生件数

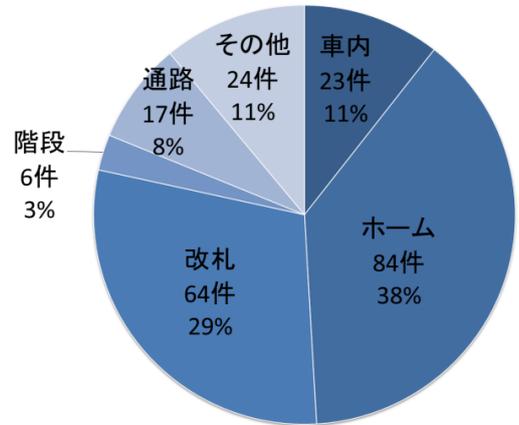
27年度



26年度

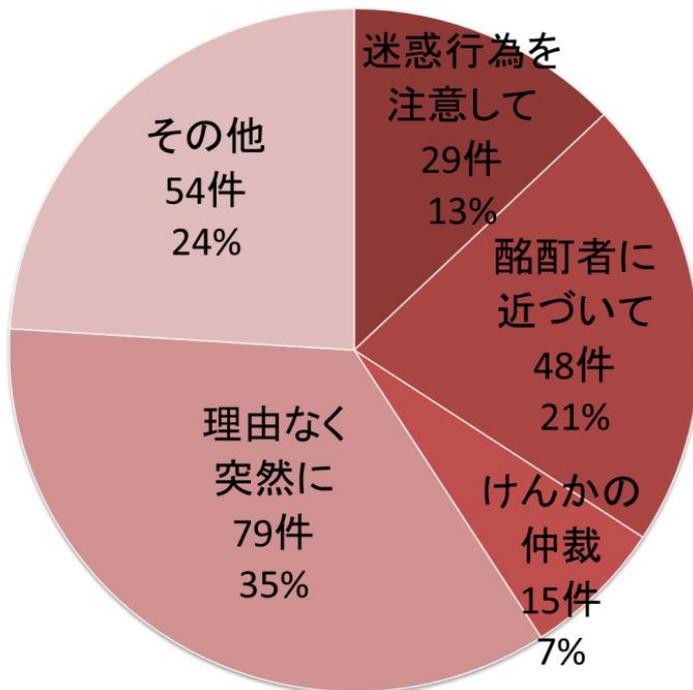


25年度

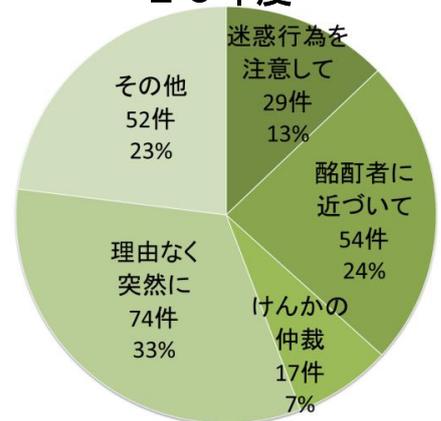


4. 主な契機別 発生件数

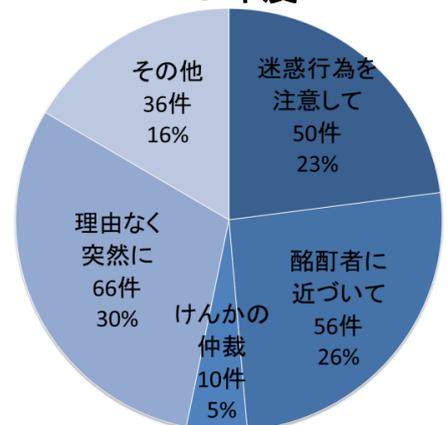
27年度



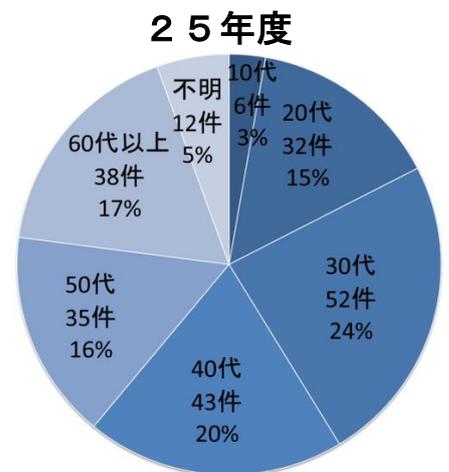
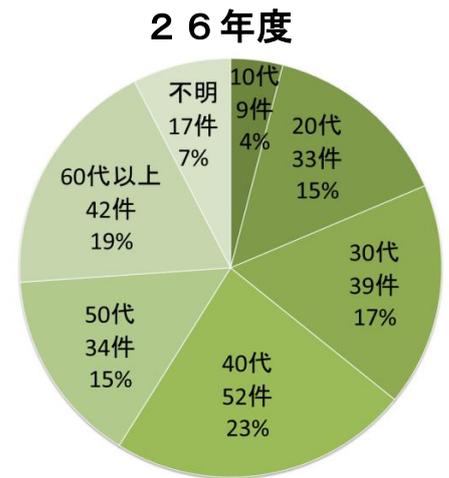
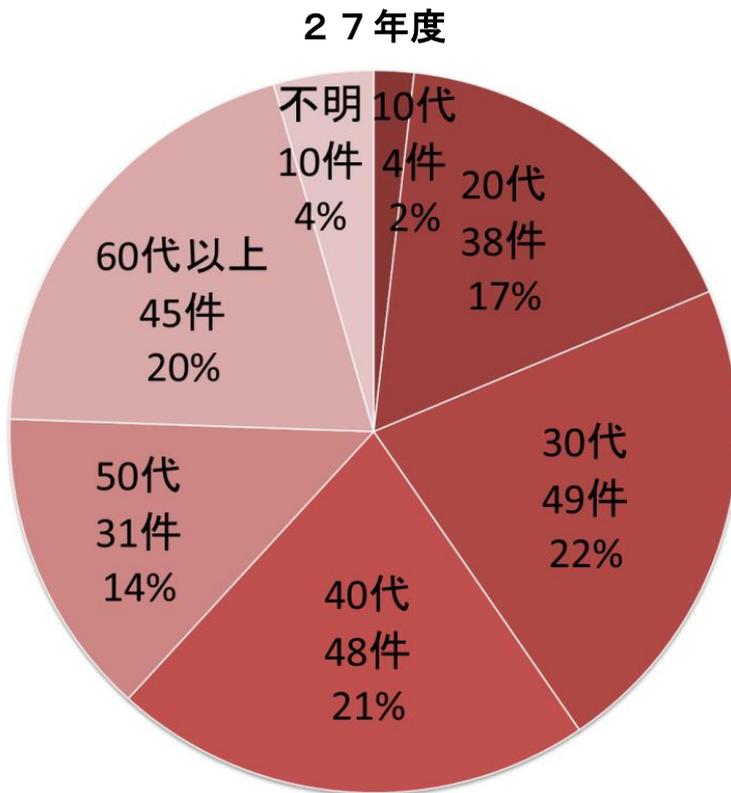
26年度



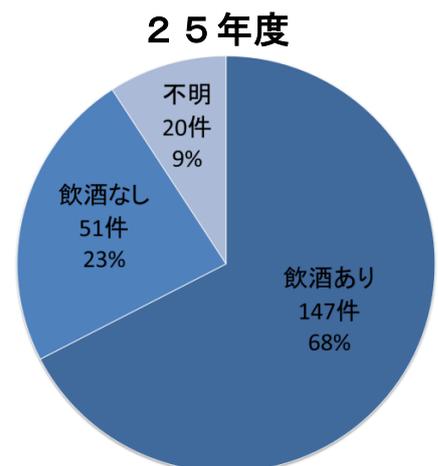
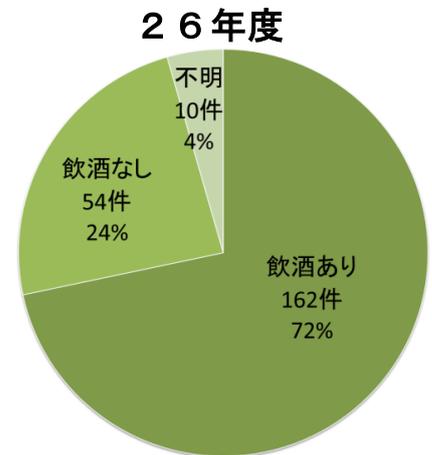
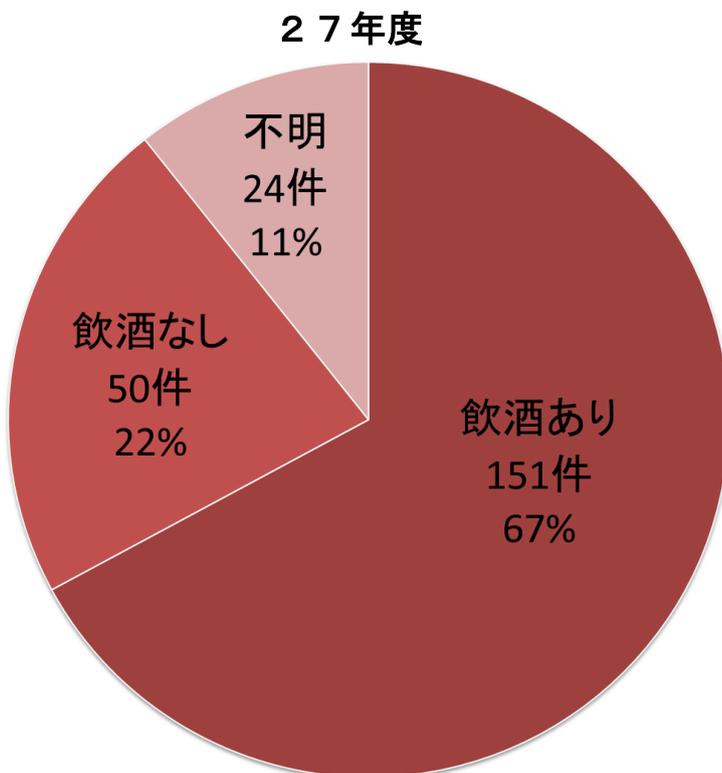
25年度



5. 加害者年齢



6. 加害者の飲酒状況



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	水曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	20歳代	飲酒	なし

係員は、券売機の呼び出しブザーを押したお客さまに対し、硬貨を入れ間違っている旨を説明したところ、お客さまが興奮状態になり、いきなり拳で顔面を殴られ負傷した。

【事例2】

曜日	火曜日	時間帯	朝（始発～9時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	30歳代	飲酒	あり

係員は、ホーム上でお客さま同士がトラブルとなっていたため仲裁に入ったところ、興奮していたお客さまより、左上腕部を殴られた。

【事例3】

曜日	木曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	迷惑行為を注意して	年齢	60歳代以上	飲酒	あり

自動券売機の警報が鳴り、お客さまより「切符が買えない、どうなっているんだ」と申告を受け、ICカード挿入部に乗車券が詰まっているのを確認したので返却した後、自動券売機と壁を強く叩かれ、小窓留め具の鍵が破損したので、事情を聞くため駅事務室に案内したところ、右手拳で右胸を殴られた。

【事例4】

曜日	日曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	40歳代	飲酒	あり

係員は終点到着後、車内点検を実施したところシートに寝ているお客さまを発見。降車を促すも聞き入れてもらえなかったため、両脇を抱えて降車を介助したところ、お客さまが急に暴れ出し、係員の太ももを蹴った。